



市川房枝さんを育んだ原点をたどるひととき

今回は、郷土史研究家・田内雅弘さんをお迎えし、「女性差別撤廃に尽力した市川房枝さんを育んだ原点を探る」と題した講演会を開催しました。

田内さんは、講演当日に至るまで、会場の下見や主催者との打ち合わせのため、何度も足を運ばれました。会場や聴衆の雰囲気合った内容にしたいというその真摯な姿勢は、すでに講演前から伝わっていました。

当日は、大型パネル14枚、自作DVD、スライド90枚以上、A4資料17ページという圧巻の準備で登壇。すべてご自身で手がけた資料からは、市川房枝さんの思いを一人でも多くの人に届けたいという強い情熱がにじんでいました。



講演では、房枝さんの婦選運動時代のニックネーム「だいてんの花」の由来や、幼い頃から農作業に従事していたこと、化粧をせず飾らず、贅沢を避け、貯蓄より寄付を選んだ質素な生活など、房枝さんの人柄がいきいきと語られました。「女性差別撤廃は天命」という信念のもと、生涯独身を貫いた覚悟には、会場からも深い感嘆の声が漏れていました。

食と健康
おしゃべりサロン

報告書

2025

7/18

(FRI)

どなたでも気楽に参加が出来る、ランチとおしゃべりを楽しむ会です。

「房枝さんが今の世の中を見たら、“もっとしっかりしてくれ”と嘆かれるかもしれません」——そんな田内さんの言葉に、参加者の多くが静かにうなずいていました。

田内さんが「市川房枝に出会えて幸せだ」と語ったとき、その言葉に宿る想いは本物でした。房枝さんの生き方や信念に出会い、深く感動した経験こそが、郷土史研究家としての田内さんの原動力なのだと感じさせられました。まるで房枝さんご本人が田内さんを通して語っているような、不思議な空気に包まれた講演会となりました。

▼郷土史研究家 田内雅弘 氏



一宮ハート・ギュット・ネット